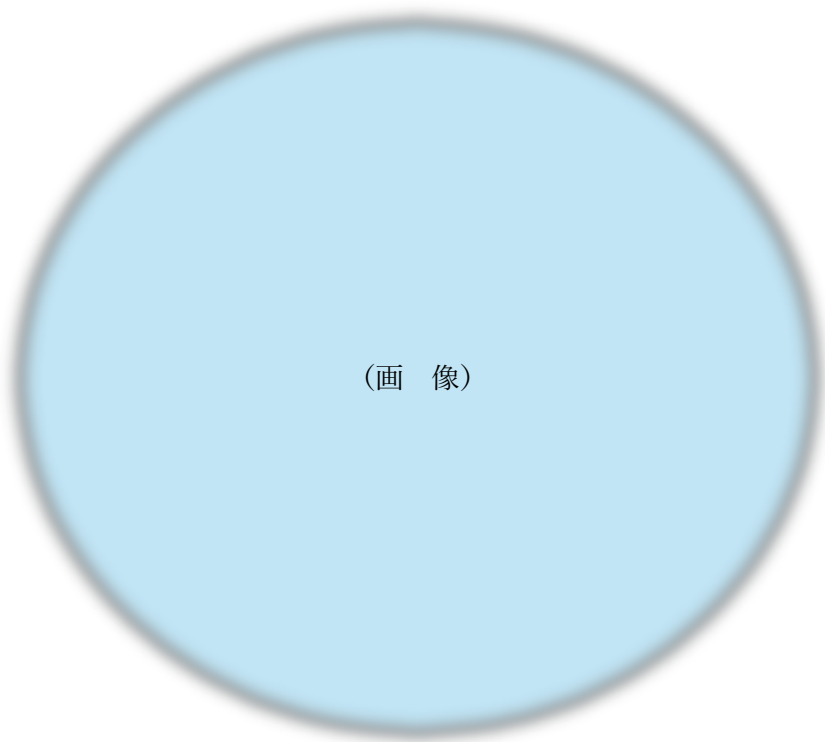


第四次 長野市生涯学習推進計画

令和9年度 ～ 令和13年度
(2027年度) ～ (2031年度)



(画 像)

令和9年(2027年)4月
長野市教育委員会

(まえがき)

第1章 策定にあたって

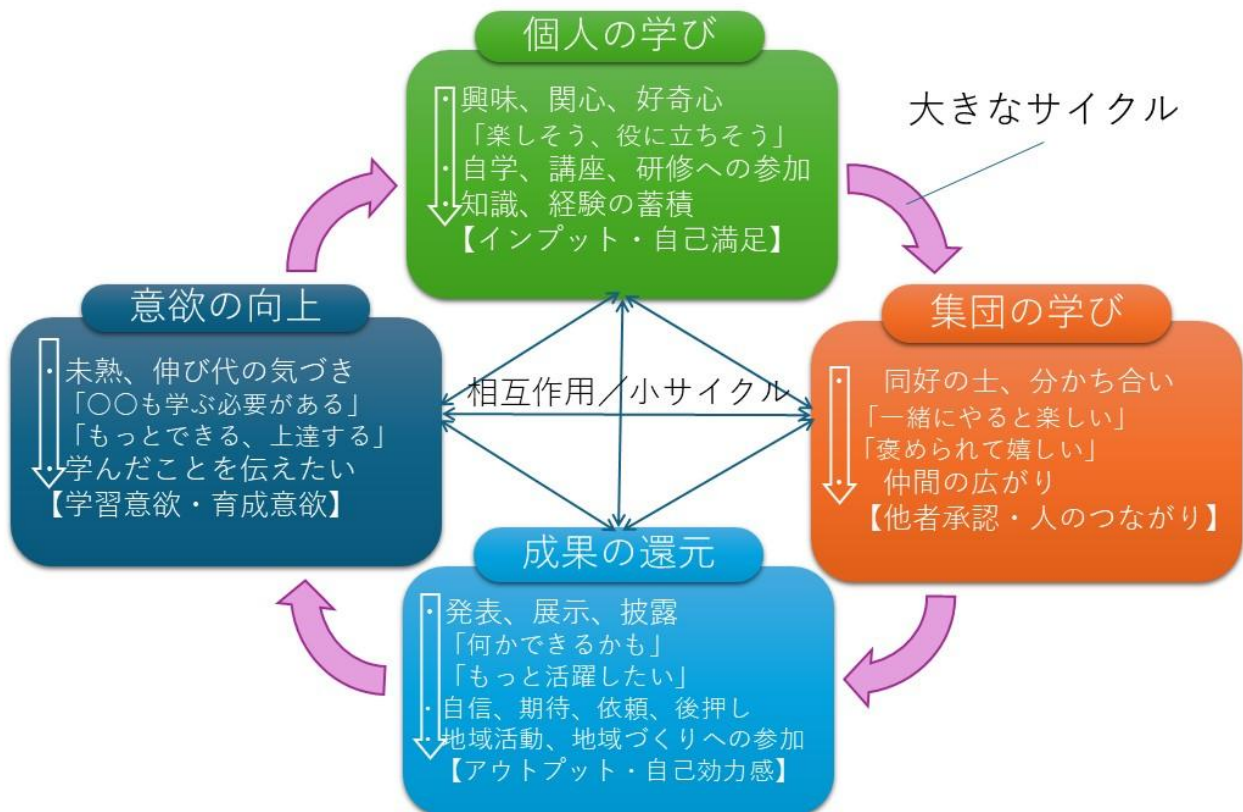
1 長野市の生涯学習の目指すべきもの

生涯学習は、自らの意思に基づき、自己に適した手段・方法を選んで行われる活動です。それは学校や教育施設などで受けることのできる学習にとどまらず、家庭や地域、日々の生活や余暇の中でも行われるものであり、その成果が自己の成長と人生の充実につながることはもちろん、学びを通じて生まれた人と人とのつながりは、地域コミュニティの基盤となって地域づくりを推進していく力となります。

本市は、市民一人一人が、生涯にわたり、いつでもどこでも自由に学ぶことで自らの人生を豊かにできるよう生涯学習を推進するとともに、学習活動を通じて地域の良さを知り、人と人との絆を深め、学びの成果を社会や地域で活かし、活力ある地域づくりにつながっていくことが大きなサイクルとして循環するまちを目指します。

●社会参画と生涯学習のサイクル(循環)のイメージ

個人の学びが集団の学び、学びの成果の還元へと繋がり、さらなる学習意欲となって個人の学びに戻ります。また、それぞれの段階も相互に作用し、小さなサイクルを作っています。



2 これまでの経過

平成 13 年度、だれもが生涯にわたり自発的に学習することができ、その成果が適切に評価される生涯学習社会の実現を目指し、「長野市生涯学習基本構想・基本計画」を策定しました。その後、平成 24 年度に、本市の教育大綱となる長野市教育振興基本計画の生涯学習に関する個別分野計画として、少子・高齢化や高度情報化、指定管理制度の導入などの社会変化を踏まえた「長野市生涯学習推進計画」を策定しました。

以降、第二次・第三次と計画を継続し、このたび次の 5 か年に向けた「第四次長野市生涯学習推進計画」を策定するものです。

平成 13 年度	長野市生涯学習基本構想・基本計画		
平成 24 年度	長野市生涯学習推進計画	(計画期間	平成 24 年度～平成 28 年度)
平成 29 年度	第二次長野市生涯学習推進計画	(計画期間	平成 29 年度～令和 3 年度)
令和 4 年度	第三次長野市生涯学習推進計画	(計画期間	令和 4 年度～令和 8 年度)
令和 9 年度	第四次長野市生涯学習推進計画	(計画期間	令和 9 年度～令和 13 年度)

3 計画期間

本計画は、令和 9 年度を始期とし、第六次長野市総合基本計画前期計画及び第四次長野市教育振興基本計画の計画期間である令和 13 年度を終期とします。

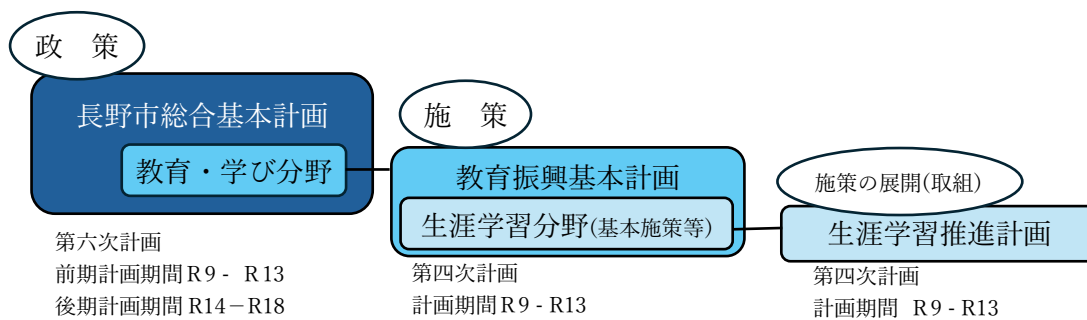
4 計画の策定体制

本計画は、長野市教育振興基本計画（基本的方向 2 生涯学習分野）における基本施策・施策に連なる内容となることから、「長野市教育教育振興基本計画策定委員会」と同じ委員で組織する長野市生涯学習推進計画策定委員会を組織し、並行審議を行いました。また庁内においては関係各課で組織する庁内検討会議を設置しました。

5 計画の位置づけ

本市の最上位計画として「第六次長野市総合計画」があり、その教育・学び分野計画として、教育大綱でもある「第四次長野市教育振興基本計画」が位置付けられています。本計画は、その教育振興基本計画における「基本的方向 2・生涯学習分野」の基本施策・施策に対応する事業計画に位置付けます。

また、市の他の個別計画等において市民の学びに係る施策や事業等を位置付けているものは、関連計画等として整理します。



第2章 第三次長野市生涯学習推進計画の点検・評価

生涯学習推進計画は、主な項目に数値目標を掲げ、目標値に基づく点検・評価を実施することで、進捗状況を把握することとしています。

■指標の達成状況一覧(令和7年度実績比較)

指標は全22項目あり、それぞれ令和元年度を基準として令和8年度目標値を設定しています。直近の令和7年度実績との比較による目標達成状況は以下のとおりです。

指標項目数	◎：目標達成	○：未達成だが実績向上	△：未達成で実績低下
施策1：6項目	3	1	2
施策2：6項目	2	1	3
施策3：10項目	2	4	4
計	7	6	9

■考察及び課題

全22項目中、目標達成7項目、未達成だが実績向上が6項目、未達成で実績低下が9項目でした。未達成で実績低下しているものの多くは、利用者数や参加者数などの人数に関するものです(指標No.4,9,10,18,19,21)。

参加率や講座開催数、実施率、利用団体数などでは目標達成している項目が見られる(指標No.1,5,6,12,15,16)ことから、学びの機会の提供状況や学習団体数は維持・増加しているものの、個々の参加者が小規模化していると推察されます。これは、新型コロナウイルス感染症の影響や、インターネットの浸透等によるライフスタイルや余暇の過ごし方の多様化、少子高齢化の進展や、就労期間の伸長など、さまざまな要因が考えられます。

また、子どもを対象とした地域での体験活動への補助件数の低下(指標No.3)などから、地域での育成活動の減少や、あるいは補助を必要としない小規模(小予算)化している可能性が窺え、新型コロナの影響や、少子化により地域での子ども集団の縮小などの要因が考えられます。

【各施策の指標項目と達成状況】

◎：目標達成 ○：未達成だが実績向上 △：未達成で実績低下

施策1 人生100年時代を見据えた学びの環境づくりの推進

No.	指標項目	令和元年度 基準値	令和8年度 目標値	令和7年度 実績値	達成 状況
1	保健センターでの「家庭の学び講座」受講割合(受講者数/対象者)	90.4%	88.0%	90.8%	◎
2	「おひざで絵本」事業での絵本配付率	92.4%	95.0%	93.4%	○
3	子どもわくわく体験事業補助金の交付件数	90件	120件	64件	△
4	サンライフ長野(中高年齢労働者福祉センター)利用者数	72,050人	80,000人	51,040人	△

5	高齢者団体の市立公民館・市交流センター利用回数	8,536 回	8,600 回	10,937 回	◎
6	市立公民館・市交流センターにおける、情報通信機器の利用に係る講座の開催数	71 回	95 回	159 回	◎

施策2 市民の学びを支える体制づくりの推進

No.	指標項目	令和元年度 基準値	令和8年度 目標値	令和7年度 実績値	達成 状況
7	若い世代を中心に構成される団体が市立公民館・市交流センターを利用した割合	7.5%	11.0%	9.2%	○
8	市立公民館・市交流センター活動に関するSNS(ツイッター)による情報発信数	81 回	180 回	13 回	△
9	生涯学習センターの利用者数	189,238 人	210,000 人	127,704 人	△
10	一日あたりの入館者数(長野図書館)	1,104 人	1,250 人	995 人	△
11	「親子学級」を実施する市立公民館・市交流センターの割合	100%	100%	100%	◎
12	「地域の学び講座」を実施する市立公民館・市交流センターの割合	100%	100%	100%	◎

施策3 とともに学びあう人と地域づくりの推進

No.	指標項目	令和元年度 基準値	令和8年度 目標値	令和7年度 実績値	達成 状況
13	市有ホール施設の利用者数	359,572 人	458,000 人	372,731 人	○
14	成人が週1回以上スポーツや運動を実施した割合	59.9%	65.0%	54.3%	△
15	「フレイル予防講座」を実施する市立公民館・市交流センターの割合	100%	100%	100%	◎
16	住んでいる地域の行事に参加している児童・生徒の割合について、全国を100とした指数(※全国調査 令和5年度が最終)	小学校 128.1 中学校 120.0	小学校 131.0 中学校 117.3	小学校 141.3 中学校 112.4 (※令和5年度)	◎ (平均)
17	人権教育・啓発研修会参加者の満足度	83.3%	92.0%	83.5%	○
18	国際交流コーナーの利用者数	8,098 人	9,200 人	4,411 人	△
19	環境学習会参加者数	6,995 人	5,500 人	4,116 人	△
20	自主防災組織が実施する防災訓練の実施率	68.9%	100%	87.1%	○
21	読みがたり・朗読ボランティア養成講座参加者数	76 人	80 人	72 人	△
22	市立公民館・交流センターの講座における地域住民が講師を務めた講座の割合	28.4%	38.5%	30.8%	○

第3章 計画の推進

(1) SDG s の推進

本計画とSDG s の計画期間の不一致について補足を加える。

持続可能な開発目標（SDG s）は、平成 27（2015）年 9 月の国連サミットで採択された、持続可能でより良い世界を目指すための令和 12（2030）年※¹までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための 17 の目標の達成により、「地球上の誰一人取り残さない包摂的な社会」の実現を目指しています。

長野市は、令和 3 年 5 月に「SDG s 未来都市※²」に選定されています。

また、持続可能な社会の創り手を育む教育として ESD があり、ESD は SDG s の 17 の目標の一つである「全ての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進します。」という部分に位置付けられています。

「SDG s 未来都市」である長野市においても、市民が主体的に学べる機会の充実、地域の皆様と取り組む教育活動によって、これらの目標の達成を目指しています。

※¹ SDG s に根本的な変更がない限り、本計画の計画期間の令和 13（2031）年度まで、その理念・目的を継承する。

※² 「自治体SDG s」として、地域のステークホルダーと連携し、SDG s 達成に向けて戦略的に取り組む都市

関連する目標		内 容(外務省 JAPAN SDGs Action Platform より)
	すべての人に健康と福祉を	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
	質の高い教育をみんなに	すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。
	ジェンダー平等を実現しよう	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。
	働きがいも経済成長も	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセントワーク)を促進する。
	産業と技術革新の基盤をつくろう	強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。
	人や国の不平等をなくそう	各国内及び各国間の不平等を是正する。
	住み続けられるまちづくりを	包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する。
	つくる責任 つかう責任	持続可能な生産消費形態を確保する。
	平和と公正をすべての人に	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
	パートナーシップで目標を達成しよう	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

(2) 本計画の体系

本計画は、第四次長野市教育振興基本計画の生涯学習分野である「基本的方向2 社会参画と生涯学習の環境づくりの推進」における【基本施策】－【施策】－【主な取組】の体系に連なって、施策の実現及び取組の実行手段となる各事業等を示すものです。

第四次長野市教育振興基本計画【基本的方向2】社会参画と生涯学習の環境づくりの推進

【基本施策2－1】社会教育の更なる推進

【施策2－1－1】社会教育を推進する体制づくり

【主な取組】 6項目 …○ページ

【施策2－1－2】図書館から広がる読書活動の推進

【主な取組】 4項目 …○ページ

【施策2－1－3】青少年が健やかに育つ取り組みの充実

【主な取組】 4項目 …○ページ

【基本施策2－2】多様なニーズに応じた学びの機会の充実

【施策2－2－1】生涯を通じて学ぶことのできる環境づくりの推進

【主な取組】 5項目 …○ページ

【施策2－2－2】時代の変化や多様な価値観に応じた学習機会の提供

【主な取組】 7項目 …○ページ

【基本施策2－3】市民の生涯学習活動を支える環境の整備

【施策2－3－1】サークル活動など市民の自主的な学習活動の支援

【主な取組】 2項目 …○ページ

【施策2－3－2】誰もが使いやすく安全な学びの環境の整備

【主な取組】 4項目 …○ページ

【基本施策2－4】学びの成果が活かされる地域づくりの促進

【施策2－4－1】地域コミュニティの基盤に繋がる生涯学習環境づくり

【主な取組】 5項目 …○ページ

【施策2－4－2】学校・家庭・地域で子どもを育む取り組みの支援

【主な取組】 10項目 …○ページ